

平成 28 年度 事業計画 及び 収支予算

【 事業計画 】

当会の平成 28 年度事業計画としては、各種警備活動・災害警備への支援、全国に亘る交流激励会開催、海外研修支援など、恒例の激励支援活動を更に充実していくことに加え、新規会員の獲得、朝食講演会の活性化など、一層の組織活動強化に努める。

また、永年功労表彰については、会員資格継続 30 年に到達した会員を対象とする。

①機動隊員等に対する激励支援

・警備活動及び災害警備への支援

本年度は、5 月に伊勢・志摩サミット、またこれに前後して全国各地で 10 もの関係関係会合が開催されることから、平成 22 年の横浜 APEC 以来の所謂「特別大規模警備支援」を実施することとなる。数万人もの機動隊員等が警備支援の対象となることから、限られた財源で如何に効率よく支援を行っていくか、関係部門とも前倒しで検討・調整を進めていく。

大規模警備支援としては、前年度に広島平和記念式典に対する支援に加え、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典警備及びその地域に対する支援を開始したが、本年度もこれを継続すると同時に、大規模な災害発生に伴う災害警備支援にもタイムリーに対応するべく、本部・支部間の緊密な連携・調整に努める。

・会員と機動隊員との交流激励会

本年度も、東京本部と全国 8 支部において、会員と機動隊員・警察幹部との交流激励会を開催し、隊員の激励と相互理解に努める。なお警備部門には前述したサミット警備に万全を尽くして頂くため、一部の支部交流激励会については、例年の開催時期を変更して対応する。

・文化体育活動支援

全国優秀機動隊員として警察庁警備局長から表彰された約 100 名の機動隊員に、海外警備事情視察等の海外研修を支援し、その資質向上に資する。

・機動隊をはじめとする警察の各種行事への出席

機動隊観閲式・警備訓練更には武道大会などの各種行事に当会役員や会員が出席し、これを激励する。特に支部段階での各種行事への参加につき、本部の協力・支援を活性化させていく。

②弔意・見舞活動

全国殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊祭に理事長が出席するほか、機動隊員が警備中または訓練中に殉職・負傷された場合、弔意・見舞活動を行う。

③普及・啓蒙活動

- ・機関紙「はげまし」を例年通り年 11 回発行し、その内容充実に努めると共に、本部・支部総会などについて活動状況を PR することにより、広く国民各位に対して遵法精神の高揚を図る。特に本年度から、賛助広告を掲載していただいている会員会社についての紹介を開始する。
- ・当会のホームページについては、都度の話題をタイムリーに掲載するなど、引き続き内容の充実に努めていく。また、年度内には過去の総ての機関紙につき閲覧可能なものとする。

④朝食講演会

例年通り、朝食講演会を年 10 回（6 月と 8 月を除く）開催し、その講演録を機関紙「はげまし」に掲載することで、広く全国の機動隊員及び会員の知見に役立てる。幸い出席者数は増加基調を続けており、若手層をはじめとした出席数の更なる拡大と、魅力ある講師の探索に引き続き努力していく。

⑤組織の強化活動

当会諸活動の一層の充実と財政基盤の安定を踏むため、会員の新規入会勧誘活動を強化していく。特に相当数の会員の高齢化に伴う退会が目立ちつつある一方で、会発足から数えて第 3 世代となる若手層においては、勉強会等、自主的な活動が軌道に乗ってきたこともあり、当会の活動趣旨が世代を跨って確実に伝承されて来ている。こうした中で、今後も会員の皆様の、新規会員拡大に向けたご協力を改めてお願いしておきたい。

【 収支予算 】

平成 28 年度収支予算は、次頁の通りである。

その概要は、本年度も引き続き、まずは収支均衡に努めることとして、一過性の「特別大規模警備支援」に伴う 350 万円のみを赤字として計上するものである。

また、本年度はトータルとして赤字を余儀なくされることが不可避であることから、1,000 万円を限度として「はげまし基金」の取り崩し枠を設定することとする。

【 収支予算 】

(単位：円)

(参考)

勘定科目	28年度予算	27年度決算	
		27年度決算	28予算-27決算
[経常収益]			
受取会費	35,300,000	35,355,000	△ 55,000
講演会参加料	3,500,000	3,618,000	△ 118,000
激励会参加料	9,000,000	9,116,000	△ 116,000
賛助広告料	5,000,000	5,040,000	△ 40,000
雑収益	200,000	218,666	△ 18,666
経常収益計	53,000,000	53,347,666	△ 347,666
[経常費用]			
弔意見舞金		2,948	△ 2,948
大規模警備支援費	1,000,000	607,880	392,120
特別大規模警備支援	3,500,000		3,500,000
文化体育活動援助費	8,500,000	8,641,535	△ 141,535
交流激励会活動費	17,000,000	17,568,136	△ 568,136
機関紙発行費	5,900,000	6,002,084	△ 102,084
カレンダー発行費	1,150,000	1,126,356	23,644
会議費	5,700,000	5,618,669	81,331
給料手当	7,000,000	7,024,352	△ 24,352
福利厚生費	1,200,000	1,127,608	72,392
旅費交通費	2,050,000	1,993,997	56,003
通信運搬費	700,000	714,500	△ 14,500
消耗品費	700,000	698,403	1,597
新聞図書費	250,000	209,063	40,937
印刷製本費	300,000	162,390	137,610
賃借料	850,000	849,312	688
諸謝金	350,000	352,840	△ 2,840
租税公課	70,000	70,000	0
支払手数料	180,000	162,537	17,463
雑費	30,000	28,572	1,428
経常費用計	56,500,000	52,961,182	3,538,818
当期経常増減額	△ 3,500,000	386,484	△ 3,886,484
[一般正味財産増減額]			
当期一般正味財産増減額	△ 3,500,000	386,484	△ 3,886,484